



朝夕は冷え込むようになり、気が付けば秋風そよぐ季節となりました。
 今年は、新型コロナウイルスが私たちの生活や世界までもを変えてしまっています。
 子どもたちが毎年楽しみにしている夏祭りや旅行などが中止になり、いつもと違う夏となりました。その中で、暑い中マスク着用や手洗いをしている子どもたち、家族の健康を毎日守っているお父さん、お母さん、また大変な環境の中で子どもたちを見守ってくださっている先生方、本当にお疲れさまです。
 1日も早くこの状況が終息して欲しいものですね。

ナゴム病児保育室での 感染予防対策について



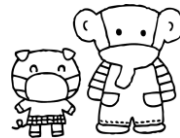
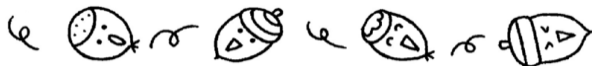
ナゴム病児保育室では、新型コロナウイルスの感染予防対策として、保育室の定期的な換気やおもちゃ消毒、職員においても、感染対策を徹底しており、検温や診察など定期的な体調チェックをしております。

また、病児保育室を利用される方にも次のことをお願いしております。

- ・来院時のマスクの着用
- ・来院時、お迎え時の保護者の方への検温
- ・利用されるお子さまと同居されている御家族の方の問診票の記入
- ・入室前の診察

(当面の間は8時半以降の入室とさせていただきます)

保護者の方には、お仕事前のお忙しい時間帯になるかと思いますが、お子さまにとって、より安心、安全な環境で保育看護できるよう、職員一同取り組んでいきたいと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



お家で看護ケア

冬の感染症で知られている、インフルエンザ、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、感染性胃腸炎などに罹患すると、熱、咳、鼻汁、喘鳴、嘔吐、下痢など様々な症状で夜眠れなかったり、食事が摂れなかったりということが考えられます。お家でのケアにより、症状を緩和させたり、早めに対応しておくことで、悪化を防ぐことにつながります。

病児保育室でも行っている、看護ケアについて簡単に紹介します。

☆咳が強く、ゼーゼーを伴い寝苦しそうな時
 布団など厚みのあるものを下に敷き、
 胸から上を高くすると呼吸が楽になります。
 また、乾燥も咳をさそいますので、濡らした
 タオルを部屋に干しておくこと加湿になります。



☆鼻汁が多い、鼻詰まりがあって苦しい時
 自分で上手に鼻がかめるようになるまでは、鼻吸器を使って吸ってあげると楽になります。中耳炎やゼコゼコの予防にもつながります。

☆下痢をしている時の食事
 水分を少しずつ摂取しながら、食事療法(味の濃いもの・油っこいもの・刺激の強いものはさける)をして治していきましょう。
 お勧めする食品・・・人参、かぼちゃ、米、ポーロ、ウエハース、うどん
 (上記に記載している食品を優先していただきたいのですが、食べにくいようなら、りんご、バナナ、イオン水でもかまいません。)
 ※イチゴ、みかん、アイスクリーム、牛乳は控えてください。

☆お薬が飲みにくい時の工夫
 お薬の中には苦みがあるもの、また、混ぜるものによって苦みを増すお薬があります。

お薬を飲ませる工夫・・・出来るだけ1~2口くらいにすると飲む量が少なくてお子様の負担軽減につながります。

- こんな方法も
- ・ガムシロップと薬を混ぜる
 - ・ココアの粉スプーン2杯に少量の水、薬を混ぜて丸くまるめる
 - ・味の濃い物に混ぜる(例えば、のりのつくだ煮)

お薬を飲むことで症状が良くなるから飲もうねーと声をかけたり、飲めた時には褒めてあげることで、自信につながると思います。

少しでも病気の時の負担が軽減できたらいいですね😊